

科学の芽 育成講座

～フィルムケースロケット・発泡スチロール飛行機～

7月7日（火）に「科学の芽育成講座」に参加しました。広島国際大学より講師の先生にご来校いただき、2つの実験を体験させていただきました。

1つ目は、フィルムケースを使ってロケットを発射させる実験をしました。フィルムケースに3分の1ほど水を入れ、そこに入浴剤をひとかけ入れて、蓋をします。すると、むくむく発砲し始め、ケースの蓋が勢いよく飛び出るといった仕組みでした。

理科で「とじこめた空気や水」を学習したばかりの子供たち。フィルムケースの中に閉じ込められた空気にも着目して、実験を楽しむ様子が見られました。



2つ目は薄くスライスされた発泡スチロールを鳥形に切り抜いて、先端に付箋でおもりを付けて飛ばす実験をしました。始めは、講師の方が作られた見本のように上手に飛ばず、原因を考えながら工夫し始める子供たちでした。

「なんでだろう?」「不思議だな!？」と科学的な事象に楽しく向き合える時間となりました。今回の経験が、今後の学習や日常生活の“科学の芽”に繋がることを願っています。

